



SDGs未来会議

問合せ 総合政策課 (内線2238)

7月25日、市制施行70周年記念事業「SDGs未来会議」を鴻巣市議会議場で開催しました。

SDGs未来会議は、これからの社会の創り手となる中学生の皆さんが、SDGsをきっかけに、どのような未来を望み、その実現に向けて、どのような行動をとっていくか、鴻巣のこれからを考えることを目的としています。

会議では、市内8中学校からそれぞれ選出された3名の生徒が登壇し、SDGsの視点で地域課題を考え、今後のまちづくりについて提案するとともに、自分たちが学校で取り組むことを宣言しました。

中学生の皆さんには、SDGsを「自分ごと」として捉え、本市の未来を考える機会、また、こども基本法で求められている、こどもが意見を表明する機会として貴重な経験をしていただきました。

プレゼンテーション終了後、市長が市内8中学校に「このとりSDGsパートナー認定証」を贈りました。

各中学校のプレゼンテーションの内容は4・5ページで紹介しています。



SDGsとは？

持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」の略で、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。





鴻巣市 SDGs 推進本部長
並木 正年 市長

SDGsをきっかけに 次代を担う皆さんに伝えたいこと

鴻巣市では、「コウノトリ」をキーワードに、SDGsを推進しています。コウノトリが生息できる豊かな自然環境を土台に、子育て・教育の充実、そして、まちのにぎわいの創出を目指しており、令和5年5月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。

中学生の皆さんに、SDGsに取り組む上で大切なことを2つ伝えたいと思います。

1つ目は「バックキャスティング」の方法で目標の達成に向けて取り組むことです。SDGsは、目標は決められているものの、目標の達成までの細かいルールはないため、皆さんの望む未来から「逆算」して、どのような行動を起こしていくか、自分ごととして、皆さんが主体的に考えることが大切です。

2つ目は、パートナーシップの強化です。SDGsは、全世界の共通の目標で、多くの人々がSDGsの達成に向けて取り組んでいます。連携が不可欠な多くの社会課題の解決に向けて、SDGsを合言葉に様々な人とのつながりをつくり、取組の輪を広げてください。

SDGs宣言をしていただいた今日という日をスタートに、皆さんとともに、よりよい社会の実現に向けた新たな一歩を踏み出すことを嬉しく思っています。

このたびの未来会議への参加を通じてさらなる成長を遂げた皆さんが、将来の鴻巣を担う人材として、大いに活躍されることを期待しています。

SDGs未来会議に参加して

当日は、市議会議場という緊張感のある場で大勢の人前での発表でしたが、発表に向けて仲間と準備した時間も含め、とても楽しく、また、良い経験となりました。

印象に残っていることは、他の学校のテーマであったフードロスについてで、食べ物もったいないだけでなく、食品を処分することで多くのCO2を排出していることを知り、新たな視点から見ることで、今まで以上に残さず食べる意識を持つようになりました。

今回のプレゼンテーションでは、私のようにこれからも鴻巣に住み続けたいと思う若い世代が増えるように、鴻巣の魅力を発見し、その魅力を発信することを宣言しました。

そして、私の将来の夢である「先生」になった時に、教える子どもたちに明るい未来を残すため、SDGsに取り組んでいきたいと思っています。



赤見台中学校
土田 來夢 さん



▲約2か月の間、発表に向け熱心に取り組む生徒たち
(赤見台中(左)・吹上中(右))

鴻巣西



No Food, No Life. (食品ロスをなくす)

市への提案…フードドライブを設置し、取組を周知する。市内8中学校にコンポストを設置する。

宣言! 給食の残食を減らすため、盛り付け方法を見直します。食事の大切さを伝え、食への意識改革に取り組みます。



山口 侑花さん

田沼 夏実さん

小野 嗣史さん

市長講評

給食センターに集まった残食はリサイクルセンターまで運んで堆肥化していますが、フードロスが引き起こす様々な問題を意識することで、残食量も減っていきます。本市のフードドライブの取組について、校内での周知をお願いします。

鴻巣南



鴻巣市の過疎化問題!? ~未来を照らすご提案~

市への提案…SNSを積極的に活用し、このす花火大会などの鴻巣の魅力を発信する。天空の里を拡大するなど鴻巣の良いところを増やす。

宣言! 生徒会新聞に鴻巣の良いところを掲載します。鴻巣で行われる多くのボランティア活動に参加します。



関口 晴陽さん

玉木 辰弥さん

石田 梨桜さん

市長講評

若い皆さんには私たちにはないSNSでの発信力があります。「天空の里」でのコウノトリの飼育は、放鳥に向けた豊かな自然環境づくりが本来の目的です。コウノトリが卵を産んだ際は、鴻巣南中学校の生徒会新聞の1面に掲載してください。

各中学校がSDGsの達成に向けて取り組んでいます! /



鴻巣中学校では、フードロス削減のため、給食の完食に取り組んでいます。

◀給食をすべて完食
(鴻巣中学校2年3組の皆さん)



赤見台中学校では、花のまち鴻巣のPRのため、マリーゴールドの植栽をしています。

◀校舎前の街路樹に植栽
(赤見台中学校3年生の皆さん)

吹上北



森林保全に向けて

市への提案…給食の紙スプーンの配布量削減とリサイクルに取り組む。全ての教科書をデジタル化する。

宣言! タブレットを活用し、紙の使用量を減らします。FSC認証製品など森林に優しい製品を授業等で使います。



中川 陽菜さん

速藤 蒼太さん

渡邊 樹さん

市長講評

紙の削減のため、生徒総会をタブレットで行っているとのこと、教育ICTが広く活用されていると感じました。給食時に配布される「紙のスプーン」は必要ないというアンケート結果、大変参考になりました。今後、廃止に向けて検討します。

川里



新しく生まれ変わる川里中に、65年の多くの先輩たちの思いがつまったバトンを渡す

市への提案…川里中にいる多種多様な生き物たちが生息できるよう自然環境を保全する。特定外来生物による被害を抑制する。

宣言! ~我ら川里中の65年の伝統と青春を~
新たな未来へ歴史をつなげます。



岡崎 健さん

村川 亮太郎さん

天沼 友央さん

市長講評

川里地域小中一貫校に関する計画は教育委員会を中心に地元の皆さんの意見も聴きながら、よりよい教育環境となるよう慎重に進めます。これからも川里中学校の皆さんが川里地域に愛着を持ち、新たな川里を創ることを期待しています。

鴻巣



フードロスを無くそう！

市への提案…地元の生産者と消費者との交流を促進し、地産地消を推進する。地元農産物を使った学校給食を提供する。

宣言！ 給食を完食することでフードロスをなくします。SDGsを多くの人たちに伝えられるようSDGsを意識した生活を送ります。



吉田にこさん

瀬尾 颯静さん

川田 暖さん

市長講評

昨年、給食で提供した、埼玉西武ライオンズの選手が食べている「若獅子カレー」は、鴻巣産の豚肉を使用するなど、地産地消の給食に取り組んでいます。給食の完食を目指す最後の一口運動など、SDGsを意識した学校生活を送ってください。

鴻巣北



GOMI ～あなたにもできる3R～

市への提案…インクカートリッジや乾電池の回収場所をマップで示すなど情報発信を強化する。「毎月〇日はごみに意識を向ける日」としてイベント等を行う。

宣言！ ごみ箱の近くに分別表を貼り、間違い防止と意識向上を図ります。栄養士さんと協力し、残食を出さないように呼び掛けます。



樋渡 花音さん

常見 佳永さん

金子 由樹さん

市長講評

乾電池の回収場所を知らない生徒が多いことを踏まえ、市の公共施設や防災情報等をマップにした地理情報提供システム「こうのとりのつづ」への掲載を検討します。給食センターの職員のメッセージ動画は、残食ゼロの意識が強くなると思います。

私たちのため 鴻巣市のため 中学校SDGs宣言!!

赤見台



鴻巣市を住み続けたい街にするために ～また帰りたくなる街づくり～

市への提案…市民が欲しいと思う店舗を増やす。手術の設備が整い、休日診療のできる総合病院をつくる。

宣言！ マリーゴールドやパンジーを定植し「花のまち鴻巣」をPRします。鴻巣の良さを知り、学校や個人で発信します。



土田 来夢さん

佐藤 怜央さん

鳥井 七碧さん

市長講評

校内アンケートで「10年後鴻巣に住みたいと思わない」割合が64%に及んだこと重く受け止めています。市では、空き店舗活用への家賃補助を開始するなど、地域活性化に取り組んでいます。皆さんには鴻巣市の魅力の発信をお願いします。

吹上



すべての世代から好かれる 鴻巣市にしていけるために

市への提案…鴻巣市に会社を呼び込み、市内で働ける場所を作る。子育て支援を充実させ、住みやすい街づくりをする。

宣言！ お金の無駄遣いを減らします。環境にやさしい生活を心がけます。



高草木 紗彩さん

大黒 優璃菜さん

高橋 尊琉さん

市長講評

参加者の中で唯一の1年生ですね。鴻巣市では、昼間は市外に通勤通学をする人が多く、夜と人口の差が課題であり、会社を呼び込むことは重要です。お金の無駄づかいを減らすというSDGs宣言ですが、おこづかいは市内で使ってください。